

減災のための目標(案)について

北上川における対応すべき主な課題

○防災情報の伝達・活用について

- ・住民の避難行動を促すためどのように情報を伝達していくか。
- ・避難率を高めていくために、地域住民にどのように周知していくか。
- ・ハザードマップについて、どのように有効活用していくか。

○水防活動について

- ・水防団員の減少や高齢化が進行する中で、水防活動の体制をどのように確保していくか。
- ・より効果的な水防活動となるよう、どのように取り組んでいくか。

○地域防災力の維持・継続・強化について

- ・地域で取り組む自主防災活動をどのように維持・継続していくべきか。
- ・命を守るために必要な心構え、知識、判断力、行動力等をどのように養うべきか。

減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標(案)

舟運文化により沿川に形成された市街地の水害リスクが高い北上川上流において、家屋浸水した平成14年7月、平成19年9月洪水や、平成25年の局所的大雨による洪水等、これまでの教訓を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し「**避難する・地域を守る・防災力を育てる**」ことで、被害の最小化を目指す。

※避難する・・・流域住民自らが主体的に水害リスクを把握し、人命を守ること。

※地域を守る・・・水防団が実施する水防活動や河川管理者が実施する排水活動等に加え、流域住民も参画し、地域の人命と財産を守ること。

※防災力を育てる・・・地域防災力を維持・継続・強化すること。

■目標達成に向けた3本柱の取組(案)

北上川上流において、被害の最小化を目的として、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取組を実施。

1. 安全な**避難行動のための取組**
2. 人命と財産を守る**水防活動及び排水活動の取組**
3. 地域防災力を**維持・継続・強化するための取組**

3本柱の取組イメージ

1. 安全な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知

想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表

想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表

ハザードマップの作成周知

まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充

要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■避難勧告等に着目したタイムラインの作成

避難勧告に着目したタイムラインの作成

タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練

■避難に資する設備の整備に関する項目

住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報やプッシュ型情報の配信

防災行政無線、防災ラジオの整備

3本柱の取組イメージ

2. 人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

水防団同士の連絡体制の確保

水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

関係機関が連携した実働水防訓練の実施

水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進

地域の事業者による水防実施体制の検討・構築

■排水手法等の検討及び排水訓練の実施

排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討

排水訓練の実施

3本柱の取組イメージ

3. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

水防災に関する説明会の開催

学校教育現場における防災・河川環境教育の実施を検討

出前講座等を活用した講習会の実施